

## お城まつり 盛り上げの企画は

**Q 川田議員** 今年のお城まつりはデイズニーパーレードがあり盛況だった。来年はどのような企画を考えているのか。また、最終日の総おどり参加者の増加を図れないか。

**A 産業文化部長** 大規模な企画は、お城まつりが70回目の節目となる2年後に行いたい。来年は一般参加型のスポーツイベントを検討中であり、大人から子供まで楽しめる魅力あるまつりとなるように取り組む。

総おどりの参加人数を増やすため、引き続き市内企業、団体などへの案内とともに、長期的なビジョンとして、学校教育を通して将来の参加者を育てることができないか調査研究を行いたい。

## 国道438号バイパス 地域への配慮は

**Q 真鍋議員** 国道438号バイパスの整備が進められているが、コミュニティセンター、保育所、小学校などが集合する飯

山南部地区において、利便性や安全面などへの対策をどう考えているのか。

**A 都市整備部長** バイパス整備に伴うコミュニティセンター移転計画の中で、市道五反地沖線の一部区間を、道路南側に歩道を配置した2車線道路として整備するほか、保育所出入口への影響が考えられる市道についても道路勾配や取り合わせなどの協議を県土木事務所と行う。

また、児童や高齢者への配慮として、県は歩道橋の設置を検討していると聞いている。



整備が進む国道438号バイパス

## 地域の見守り活動 状況把握と支援を

**Q 武田議員** 児童の登下校時の

見守り活動などを行う地域見守り安全パトロール隊の活動を維持していくためには、組織化を行い、市も関連部署が連携して状況把握するべきと考えるが、市の考えは。

**A 生活環境部長** 見守り活動は市民のボランティアで成り立っており、市は警察や関係団体と連携しながら活動に関する相談を受けるなど、地域の防犯力を高める取り組みを進めている。

今後も地域との連携を深めることで、パトロール隊の必要性や組織化が図れると考えている。

**A 教育部長** 小・中地域連携教育として、地域活動の担当とも情報共有を行っていく。

## 2025年問題 どう対処する

**Q 横川議員** 団塊の世代が75歳を迎えることで医療・介護などの社会保障費の急増が懸念される、いわゆる「2025年問題」に対し、市はどのような対策をとるのか。

**A 市長** 2025年問題は本市にとっても大きな課題と認識している。



元気いっぱい！長生き体操で体力向上を

## 成人の引きこもり サポート体制は

現在、平成30年度から3カ年を計画期間とする高齢者福祉計画及び介護保険事業計画を策定中だが、その中で本市の将来像を想定し、持続可能な介護保険制度の観点からサービスの整備を行うとともに、将来に渡り住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができるよう地域包括ケアシステムを構築することとしている。

**Q 香川議員** 引きこもりの当事者が義務教育を終了している場合、市ではどの部署がどのようなサポートを行うのか。

**健康福祉部長** 福祉課、健康課を窓口として当事者やご家族の相談対応を行っている。昨年度、窓口で十数件の相談があり、当事者やご家族の意向も考慮した支援を行っている。

支援には家族へのサポートも重要であり、家族の負担が軽減されるよう丁寧な相談支援に取り組んでいる。

就労へのサポートは、就労意欲が出た場合には就労に向けてニート支援の機関に繋いでいる。

自立を促進するため、専門機関や関係機関と連携してサポート体制の充実に取り組んでいく。

## 「もったいない」の視点 市の施策に生かせ

**水本議員** 本来食べられるものが廃棄される食品ロスが社会問題となっている。行政においても利用されずに処分されるもの、放置されているものが多く存在する。それらを「もったいない」と見直すことで、本市にしかできない有益な取り組みができるのではないか。

**市長公室長** 行政が施策を進める際に無駄をなくし、有効な

利用方法はないかと考えることは、限られた行政資源を有効活用するために必要な考え方である。

使い終わった子育て用品を貸し出す事業や空き家のリノベーションなど、もったいないという視点から取り組んでいる事業を今後も進めたい。

## 休止中の請願道路 再開の考えは

**横田議員** 現在、誓願道路の受け付けを中止しているが、事業は廃止かそれとも一旦休止か。また、事業費の見込みと受け付け再開の考えはないのか。

**都市整備部長** 請願道路は平成25年度末で受け付けを終了したが、現在工事を進めているものが平成31年度末で完了予定であり、これにより事業は廃止とする予定である。

平成26年度末で受け付け済み路線数は46、必要な事業費は7億円であったが、事業化する路線を27に整理し、事業費は3億4000万円となった。

生活道路の改良の要望などが寄せられているので、請願道路

事業以外の方法で応えられるよう検討を進める。

## 西汐入川流域の浸水対策 市独自の取り組みを

**山本議員** 9月の台風18号では西汐入川流域で床上浸水などの被害があった。西汐入川は県管理だが、市としても何らかの対応をとるべきではないか。

**市長** 西汐入川のポンプ場施設は、管理者である県は整備済みとの見解であり、今後の整備予定はないことから、抜本的な排水対策には本市独自の内水排除の検討が必要と判断しており、県下水道課との浸水対策についての協議や国へポンプ増設



台風による大雨で増水した西汐入川

などの陳情を重ねてきた。今回、国から補助金について前向きな回答が得られたので、浸水シミュレーションによる雨水流出解析を行い、費用対効果を考えた上で最も効果的な浸水対策を早期に実行したい。

## 教員の長時間勤務 改善の取り組みは

**大西議員** 教員の長時間勤務が問題となっているが、教育現場では勤務時間の適正な記録もできておらず、違法といえる状態である。本市では状況改善にどう取り組むのか。

**教育長** 教員の職務は部活動や放課後の対応など多岐に渡るため、長時間労働になりがちである。本市教育委員会の取り組みとして、勤務時間を意識した働き方を進めるため、現場の負担が少ない方法で退社時間が記録できるシステムを次年度4月から導入するほか、教職員が休みを取りやすくなるよう8月中旬に学校閉庁日を3日間程度設けるなど、教職員の長時間労働の解消に向け、学校現場を支援していく。



## 協働を進める 機構改革を

**Q 内田議員** 市民との協働を進め、政策課題をスピーディに解決していくために、市役所の機構改革を行うべきと考える。先進的な他市の事例を参考に、市民活動やまちづくり関連部門を市長直轄または単独の部設置とすること、企画部門に「経営」「戦略」「政策推進」の要素を強く掲げること、市民交流活動センターを意識したボランティア部局の準備などを提言するが、機構改革について市の考えは。

**A 市長公室長** 時代に即した行政課題への対応の観点から毎年度組織のあり方の見直しを行っているが、市民との協働を進め、市民ニーズを的確に把握した自治体経営が行える最適な組織の構築を進めたい。

## 学校と地域をつなぐ 地域コーディネーター

**Q 竹田議員** 地域と学校をつなぐ地域コーディネーターの養成が本市でも開設されている

が、地域コーディネーターによる地域と学校の連携について、市の方針は。

**A 市長** 子供の育ちや学びを地域ぐるみで支えていく体制づくりや地域人材の育成を行うため、本年度から地域コーディネーターの養成を開始した。養成されたコーディネーターには学校現場に参画し、現場のニーズと地域人材などを結びつける橋渡し役となり活動していただくが、市も行政の立場でフォローアップを行い、組織的に地域で子供を育む仕組みを整え、学校、地域が効果的な連携を図っていけるよう取り組みたい。

## 地域の自主防災組織と 消防団の連携状況は

**Q 大前議員** 地域での災害対応の中核は消防団が担うとされているが、地域の自主防災組織と消防団との連携はどのような状況か。

**A 市長公室長** 自主防災組織は、平時には地域の防災活動に取り組み、災害時には地域の復旧復興に向けた活動に取り組むことが期待されている。消防団は地

域防災力の中核として、あらゆる災害に対処する活動を任務としている。両者は地域の防災訓練などに連携して取り組んでおり、大規模災害などの非常時においても相互に協力機関として連携が図れるものと考えている。今後も両組織の意見を聞きながら、連携が図れるよう協議したい。



地域防災力の中核となる消防団

## 観光活性化の まちづくり

**Q 多田議員** 大手町の飲食街を活性化することで、観光客や宿泊客の増加が見込め、市街地活性化につながると考える。試験的に金曜日夜間にバスを運行す

るなど、活性化に向けた施策を行うてはどうか。

**A 産業文化部長** 丸亀城に近い大手町飲食街の活性化は、本市が目指す滞在型観光を推進する上で重要だと考えている。これまで観光協会と連携し、飲食店などで割引を受けられるクーポンの発行を行うなど活性化に努めてきたが、今後も官民が連携して大手町飲食街の活性化を含めた観光施策に取り組みたい。

金曜日夜間のバス運行については、採算性ほか様々な課題があり、今後の研究課題とした。

## 広域水道企業団議員 本市はなぜ2名か

**Q 国方議員** 県広域水道企業団議会議員に本市からは2名の選出とされたが、本市の規模を考えると少ない。これまでも2名では少ないと指摘してきたが、どのような経緯で2名となったのか。

**A 水道部長** 県広域水道企業団議会の議員定数及び各自治体からの選出人数は、全国の広域水道企業団や後期高齢者医療広域

連合などの組織を参考に準備協議会で協議され、まとめられたものである。本市は準備協議会などで機会あるごとに議員定数や企業団議会の運営について十分な検討を求める旨の主張をしてきたが、ほかの自治体から同様の意見はなく、当初事務局案のとおり協議が整った。

## 綾歌総合運動公園 未整備地の活用は

**Q 加藤議員** 綾歌総合運動公園未整備地を今後どうするのか。これまでの整備方針を決めず放置してきた姿勢から一歩踏み出し、方向性を打ち出すべきと考えるが、市の考えは。

**A 都市整備部長** 今後の整備方針には、①運動公園としての整備、②森林公園としての整備、③民間企業の利活用地とするこの3点が考えられるが、現時点では新たな雇用を生み出し税収の確保につながるなど本市にとってメリットの大きい民間企業の利活用をまず検討したい。  
これまで今後の整備方針に検討を加えていなかったことは問題だったと考えている。有効利

用となるよう最善を尽くし、早期に検討結果を報告したい。



綾歌総合運動公園の未整備地

## 待機児童解消へ 直ちに対策を

**Q 中谷議員** 平成31年度には解消見込みであった私的待機児童が反対に増えているが対策は。

また、私的待機児童の多い飯山地域において、老朽化した北第一保育所の建て替えを前倒しして定員増を図ること、南保育所の0歳児保育を再開することにより早期解消を図る考えは。  
**A ことも未来部長** 公立での0歳児保育の拡大、こども園移行による保育認定の受け皿拡大、保育士確保の取り組みなどによ

り待機児童解消に努める。飯山地域の施設整備は次期こども未来計画に明記する。南保育所の0歳児保育は、平成30年度入所児童数を把握のうえ、受け入れに必要な施設整備や保育士確保を検討したい。

## 縁結びサポート 市にも窓口設置を

**Q 神田議員** 結婚を望む独身者の出会い、結婚を支援するため、県はかがわ縁結び支援センターを設置しているが、利用するのは登録者が同センターもしくは県民センターに予約の上申しなければならず、利用しにくい。未婚化対策として、本市でも登録者を受け入れる窓口を設けてはどうか。

**A ことも未来部長** 登録者受け入れの窓口設置には、支援センター職員が常駐することや個人情報を取り扱うための安全性の確保ができるかなど、様々な検討が必要である。本市としても結婚を希望される方への支援は必要と考えており、窓口設置が可能か県や支援センターと協議を行いたい。

## 本会議インターネット中継!

市議会本会議の生中継と録画配信をしています。  
中讃ケーブルテレビの放送もハイビジョン化!  
さらに見やすく、いつでも見られる市議会を目指します。

市ホームページ **丸亀市議会** → インターネット中継(外部リンク)

クリック

